

グループワークの進め方

「現場課題の解決にむけ～要求書を作成しよう～」

グループワークの司会

寺野淳 現業評議会常任委員

【趣旨】

現業職場では、人員不足や賃金抑制、民間委託など多くの課題を抱えており、これら課題を克服するため、労働組合としてさらなる取り組みが求められています。

とくに現業評議会においては、協約締結権を有していることから、賃金・勤務労働条件の変更に関しては労使合意が前提となります。さらに、労使合意事項に至った事項は、すべて労働協約を締結することができます。

しかし、現在の厳しい状況のもと交渉をしても成果を勝ち取ることは容易ではなく、成果が得られないことによる「あきらめ感」により、交渉はもとより要求すらおこなわない単組も見受けられます。また、単組の人員確保交渉において「総務省（各都道府県の市区町村課）から採用抑制について厳しい指導を受けている」ことを理由に交渉に応じない自治体当局があるとの報告もされています。

山積する現業職場の課題解決にむけては、要求・交渉・妥結・協約化の運動サイクル確立が必要不可欠です。そのためには、職場集会や職場オルグを通じて課題を洗い出すなかから、組合員一人ひとりの「思い」を要求書というかたちにし、当局と交渉をおこなっていかねばなりません。

グループワークでは、それぞれの職域や職場での課題を共有化しながら、職場課題の解決にむけた要求書を作成することとしています。要求書作成を通じて、あらためて自分たちの状況を見つめ直すとともに、今後の単組での取り組みにむけ、具体的手法をまなんでいきましょう。

【目的】

グループワークの趣旨を踏まえ、現在の業務内容や課題について話し合い、今後の職場環境改善にむけた第一歩となるべく、要求書の作成することを目的とします。

1. 自己紹介を兼ねたアイスブレイクを行ったうえで、進行・記録・発表の担当を決めてください。
2. 現在の現場課題を付箋に描き出し、それをもとに班内発表・討議してください。
3. 課題を書き出したうえで、その課題を解決するため、何が必要かをそれぞれ付箋に書き出してください。
4. 課題解決に必要なものを書き出したうえで、その内容について要求書を作成してください。

※適宜、休憩をとりながら進めてください。

5. 発表（各班5分×5班）
 - 「どのような課題があり、どうすれば解決するか」
 - 「そのために、どのような要求をしていくのか」
6. 模擬団体交渉表（代表して2班から20分）
作成した要求書をもとに団体交渉をしてみよう。
（当局：小迫議長）

自治体の設定

〇〇市役所：人口60,000人、職員数550人、組合員数470人
混合組合＝〇〇市職労（現業評議会も有り）
市政方針では示されていないが、当局は今後、国の動向を踏まえ、民間委託を考えている。※(事前協議協定（協約）あり)

※グループワークを進めるにあたっての注意点

- ・人の話を否定しない（間違っていると思う話でも、相手の話を聞く）
- ・全員が話すようにしましょう（1人でずっと話さないように）